

議 事 要 旨 (公開用)

- 件 名 令和3年度第1回月形町未来を考える委員会
- 日 時 令和3年8月19日(木) 午後4時30分～6時46分
- 場 所 月形町役場 大会議室
- 出席者 委員：15名(別紙のとおり) ※ 欠席：3名
町：堀副町長ほか8名
- 傍 聴 1名

=====

※ 網掛けは非公開

【委嘱状交付】

※ 新規委員へ委嘱状を交付

1 開 会

【開会：企画振興課長】

2 挨拶

【挨拶：上坂町長】

- ・ お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。新しく委員を引き受けいただきました皆さんには、どうぞよろしくお願ひします。
- ・ お盆も終わり、何とか私も晴れ男から少し雨男になって、月形の畑等にも若干ですが水が回ってくれたと思います。大豆などは、まだまだ水が足りないとお聞きします。
一時期、IP告知端末機で頻繁に節水の協力のお願いをしていました。月形ダムを見に行き、ダムの底の土が見える状況に私も驚き、土地改良区の理事長から農地への水を3割も減らしているという話を聞いて心配していましたが、ほっとしております。何とか、秋の豊穡を皆さんと喜びたいと思っております。
- ・ 一方、コロナは依然として続いており、先ほど北海道知事が緊急事態宣言の発令を国に要請したとの報道を見ました。この状況はいつまで続くのか。月形は、このような中ですが順調にワクチン接種もできています。どうぞ、お気をつけて困難な状況を乗り越えていただきたいと思います。
- ・ 私も、一時この月形町まちづくり推進会議の委員になりました。行政区代表としてですが、この会の位置付けなどをあまりきちんと認識していなかったことに、今、反省しています。改めて、月形町未来を考える委員会という名前のすばらしさ。一時は「未来を考えるよりも、今、大変な課題などをしっかりとみんなで取り組むべきではないか」、そんな偉そうな思いをしておりました。

今こそ、本当に10年後、20年後、この月形が「本当にいいまちだ、良かった」と、様々な取り組みをそのように思ってもらえるよう、まさに皆さんにいろいろな課題や大事な上位の計画などについて、しっかりご意見を述べていただきたい。そんな思いでありますので、どうぞよろしくをお願いします。

- ・ 私は、これまで、このような審議会等では委嘱状をお渡しし、冒頭のあいさつと審議等をお願いして退席という形をとってきました。

今日は、私から直接皆さんへ、これからのまちづくり、大きな柱、重要事項、重要課題についてお話し、皆さんからの意見をいただきながら、閉会まで同席させていただきます。また、副町長、教育長も同様に、この会議に参加をさせていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。

- ・ まちづくり推進会議は、町のマスタープランである総合振興計画を審議いただく機関でもありますけれども、今ほどお話しした考え方の中で、地域拠点施設整備、保養センター、JR跡地利活用などについて、町としての一定の方向性を出しましたので、ご説明をしたいと思います。

また、同様に各種団体の会議などにも、このような形でご意見をいただき、9月7日から始まる町議会定例会の中で、私から説明をさせていただきます。今後、そのように進めていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をよろしくをお願いします。

【挨拶：山田会長】

- ・ 皆さん、大変お疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。
今回は、令和3年度初めての会議になります。昨年2月7日に委嘱状を受け取り、その中で、会長ということで進めさせてもらうことになりました。
- ・ 昨年、町長からお話がありましたけれども、JRの廃線、バスなどいろいろとあり、地域拠点施設整備等審議会の答申も受けました。

また、前回の会議にもありました第4次総合振興計画の一つの柱として、本日の3点、4点があります。皆さんより忌憚のない意見を伺いながら、計画から実施へということになります。多少時間が掛かるかもしれませんが、町長は、皆さんからの忌憚のない意見を最後まで聞いて、今後の方針ということもあろうかと思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。

3 議 題

【進行：山田会長】

(1) 町の主要事業について

【説明：上坂町長】

- ・ 一つ一つの詳細については、担当者よりご説明いたします。初めに大きな柱となる方向性を私から述べさせていただきます。

- 地域拠点施設の整備について、資料の7頁をお開きいただきたいと思います。

昨年の2月に月形町地域拠点施設整備等審議会より答申があり、それに基づいて、本日まで役場の中でいろいろ協議をして、一定程度の方向性を作りました。

- ・ 「みんなが立ち寄り集う地域の安心と賑わいの空間」として、現月形小学校とグラウンドを活用して、地域拠点施設を整備していきたいと決断をしたところであります。
- ・ なお、地域拠点施設の整備については、新しい建物を造るということではなく、小学校校舎を有効に活用して、日常生活の中で気軽に活用できる空間として、整備をして参りたいと思っています。

グラウンドにつきましては、町内や町外の方が利用できる商業施設を民間の力を活用し、整備を進めて参りたいと考えています。また、駐車場や屋外広場を整備し、町民の集いと憩いの場として活用します。もちろん、当別、浦臼、岩見沢、町内のスクールバス等のバスターミナルとしても、しっかりと整備をしていきたいと思っています。

- ・ そのため、小学校の移転が前提となります。小学校の移転、この小中の一体的な運営については、職員の体制、カリキュラムなどいろいろな課題がありますので、それらを一方では検討していかなければなりません。しかし、地域拠点施設については、皆様も期待をしている最重要課題だと思っています。学校の設置の整備など、教育長にもお願いしていますが、検討のスピードを上げ、できるだけ早く、未来を担う子どもたちの教育環境の整備と併せて、しっかりとやっていきたいと思っています。

- 町民保養センター等の改修について、資料の1頁から4頁になります。皆さんご承知だと思いますけれども、月形温泉、温泉ホテルの老朽化が著しい状況にあります。順次、施設が整備されたこともあり、とても非効率的な管理運営を余儀なくされています。一日も早い改修が望まれると認識しております。最近ではコロナでなかなか行けませんけれども、保養センターを利用している町内や町外の人たちから「月形の温泉のお湯は非常にいい」と言われており、これまで果たしてきた役割をこれからも、しっかりと果たしていきたい。

- ・ ホテルについても、いろいろな意見があります。特に町長になってから、農業関係で、毎年、秋冬に福岡や名古屋の市場の皆さんと、意見交換会の目的で月形に来た人たちが泊るところもない。そんなまちであってはならないと思っています。

温泉やホテルについて、「もう役割は終わった」、「周辺のまちにいい温泉もある」という声も聞きますけれども、しっかりとこの保養センターとホテルを改修して運営していきたい。

また、収益増も目指していきたいと思っています。温泉ホテルと温泉フロントの機能の一元化などにより管理運営の効率化を図り、ホテル客室の改修と併せて、しっかりとした保養センターとホテルにしたいと思っています。

これは、現在のホテルにたくさんのお金をかけて全面的に改修するというのではなく、現施設の建屋等は大きく変えずに改修を行っていききたい。それに合わせて、現在、

調理人等の経費が掛かることにより休止しているレストランを再開できるよう、準備を進めて参りたいと思っております。

- 道の駅についてであります。改めて道の駅を整備するというのではなく、温泉の駐車場、その他皆楽公園にあるいろいろな機能を集約した形で、国の「道の駅」として、登録・認証を受けたいと考えております。

若干、国道 275 号から入ります。他に当別など、非常に高額な開設費をかけて整備しているところも見受けられます。私は、皆楽公園が有する広い駐車スペース、温泉、宿泊施設、キャンプを初めとするアウトドア機能を有効に活用し、一部不足する情報発信や防災機能等を加えることにより、皆楽公園を「道の駅」として有効に活用できると判断をしました。一部「拠点化施設の場所が有効ではないか」という意見もありますけれども、私はこのような形で整備をしたいと決断をしたところでもあります。そのことにより、道の駅の持つネームバリューも含めて、皆楽公園を観光中心施設として位置付け、観光振興もしっかりと進めていきたいと考えて決断しました。

- J R 鉄道敷地である旧石狩月形駅周辺の整備について、資料の 5 頁であります。これまで町民の皆さまの意見等を聞いていく中で、赤川地区と市北地区を結ぶ町道を整備し、地域住民の方が安心して暮らせる環境整備を第一と決断しました。

そのような意味で、町民の憩いの場、鉄道レガシーを継承する公園として整備をするという決断をしたところです。旧石狩月形駅舎については、85 年の歴史を持つ石狩月形駅を残した方がいいのではないかとという声も一部にあります。町道の整備、駅周辺に住んでおられる皆さんの生活道路として重要な取り組みだと判断し、J R の跡地、駅前をしっかりと整備していきたいと考えています。私が、現段階で決断し、今後、皆さんのご意見をいただいて、更に議会の承認を得て整備を進めていく考えですので、皆さんから忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。

- **地域拠点施設の整備について**

【説明：企画振興課課長補佐】

(P-7)

- 整備の背景・目的

新たな公共交通の転換、地域の交流、公共施設集約化などの課題解消への取り組みを進めるため、令和元年度に月形町地域拠点施設整備等審議会を設置し、審議を実施

- 小学校敷地を活用して整備を進める

- ・ 新たな建屋の建設についても検討したが、既存施設を有効に活用
事業費の問題

まち全体の公共施設の面積を減らすという目標（将来負担を少しでも減らす）
可能な限り既存施設を有効活用

- ・ グランドや校舎も有効活用
- まちの重要施策として位置付け
 - ・ 早期の実現、供用開始を目指し、今後、基本計画の策定を進める
 - ・ 基本計画の中で、具体的な内容や方向性をまとめる
- 基本計画のベースとしての考えは、資料右下のとおり
 - ・ 審議会の答申を踏まえ、町として考えを整理したもの
 - ・ 「施設機能」を実現するための整備
既存施設の具体的な整備内容については基本計画でまとめる
記載された「施設機能」は、現時点で考えられるものであり、今後、意見を聞きながら検討していきたい
- 商業施設の整備
 - ・ 民間活力を利用した積極的な誘致や整備を検討
 - ・ 地域の暮らし役立つものの整備を検討

【質疑・意見など】

- （山田会長）今ほど、地域拠点施設の整備について説明があり、地域拠点施設整備等審議会からの昨年の答申に基づいて、今後の計画、全体スケジュールがあり、小学校を活用するということですが、まだ、決まっていません。
答申では、私も委員であり、ここに何人かの委員さんもいますけれども、拠点施設を造りたいという計画の答申ということで、間違いはありませんけれども。
町長の説明の中で、小学校、中学校がどのような形になるのかという絡みもあるので、そう簡単には進まないと考えていました。
ただ、建物だけを造ればいいという話でもないということは、今、町長もお話ししました。それについて、皆さんの方からどうでしょうか。小学校を活用するということで、時間的な調整などもいろいろあって、分からない面もあります。前向きに考えていただき、意見を頂戴できればと思います。
- ○ （竹田委員）今の拠点について、小学校の場所ということで、それには小中学校の統合が平行して進む形になるだろうと思います。例えば、学校統合で遅れる理由など、何か特別なものはあるのでしょうか。これは、文部科学省との関係などもあると思いますが。
- （山田会長）このスケジュールでは3年ということですが、これには、竹田委員が言われました小中学校の統合など、相当時間が掛かる面もあると思います。その辺をどのように捉えるか。
- （堀副町長）統合のスケジュールについて、お話しすればよろしいでしょうか。
- （竹田委員）はい。
- （古谷教育長）一貫教育を進める中で、義務教育学校として、小中学校一体の学校を目指そうということで進んでおります。その中で、9月の議会定例会に義務教

育学校設置の審議会を設置する条例を提案させていただきたいと考えております。基本計画、方針を揉んでいただく機関を作りたいということです。並行して、中学校の敷地に移転をするということで、一定程度のレイアウト、概算の事業費などを算出するため、今年の春にコンサルに業務を発注してございます。それと合わせて、構想を作り上げて審議会に諮り、答申をいただくということで、いろいろなご意見をいただき、令和4年度末までに構想を立てる予定です。その後、早ければ、令和5年度に基本設計と実施設計を一緒に行い、令和6年度に着工できる形になると思います。それが最短です。もっと時間を掛けますと、基本設計、実施設計、着工となりますから、1年ほど後にずれ、令和7年度に着工という形になります。

- ○ （松山委員）小中一体化ということで載っています。一体化ありきで進んでいる感じですが、これについて、小学校の父兄の皆さんや地域の意見をどこかで聞かれるなど、動いているのでしょうか。

● （古谷教育長）おっしゃるとおり保護者のご意見を賜る機会もなく、大変申し訳なかったと思っており、審議会を立ち上げた中でご意見をいただきます。同時に、先ほど申し上げましたコンサルの計画なども含めて、一定程度の案ができましたら、それを保護者にお見せして、ご意見をいただくという形で進めていきたい。

場合によっては、極論ですけれども、「それは絶対反対だ」ということもあるかもしれません。目的としては、一貫教育を進めるということで、私たちのまちの場合は、生徒数も年々減少してきており、コンパクトに一体化し、義務教育学校として進むのが一番よいのではないかとということで、現在、進んでおります。

一貫教育は、小学校と中学校が離れていても進められますが、よりその精度を上げたいということで、義務教育学校を目指すということで進んでいます。もちろん、保護者のご意見やパブリックコメントもいただいて、構想を作り上げていくという考え方です。

- ○ （加藤委員）拠点化の中の「外構整備」として「屋外イベントスペース」とあり、グラウンドをトラックやバスなどが入る駐車場、イベントスペース、芝生などを整備すると書いてあり、一般駐車場の面積は、それほど多く取らない。道の駅整備の話が先ほどありましたけれども、あくまでも町外の方は、こちらに寄っていただきたいという方向で考えているのか。その辺りを伺いたい。

● （企画振興課課長補佐）学校の部分に関しましては、拠点施設としてどのような機能を設けるかということにも影響してくると思っております。今、委員が言われたとおり、現在としては、地域のための施設ということで、町民の方の利用や会議の開催、場合によっては町外の利用もありますけれども、道の駅的に駐車場を必要以上に大きく作るということは、考えられないと思っております。その替わり、芝生広場や商業施設のお話をさせていただきましたけれども、そのような機能を有するエリアとして、敷地を有効に活用していきたいと思っております。やみくもに駐車場を広

- く取るということは、当然、避けていかなければいけないだろうと思っています。
- ○ (津坂委員) 商業施設の誘致ということですがけれども、例えば、どのような関係の商業施設とか、何か構想はあるのでしょうか。
 - (企画振興課課長補佐) 今のところ具体的な計画はないのが実態です。

このような場所を活用して誘致するということは考えられますので、可能な限り町民の生活のための事業所や企業に活用できればいいと思っております。他の自治体では、公募による事業所の誘致や、長沼町の例では、土地の一部を売却するなどして、新たな事業所の進出を促すという手法を取っているところもございます。そうした生活に密接し、利便性の高まるような施設の整備というものも考えていきたい。具体的に、このような企業がくるとか、ああいう商店がくるといことは、今はございません。
 - (津坂委員) 構想がないというか、まだ考えがないというか、それはそれでいいですがけれども。例えば、岩見沢など、ホームックの隣にビックハウスがあって、ツルハドラックがあってというようになると、たぶん駐車場が大幅に増えてくるのではないかと。そうすると、芝生を張るスペースは、たぶん無くなるのではないかと。商業施設をもってくるというのは、悪くはないけれども、単なる個人商店をもってきて「ここでちょっとやってみませんか」というのでは、勝負にならないだろうと思います。飲食店街を作るにしても、今は車社会ですので駐車場は間違いなく必要だと思えます。その中で、どういうレイアウトをしていくかということも決まってくると思えますので、その部分も検討していかなければならないと思えます。
 - (山田会長) 拠点の会議のときも、そのような話が出ています。これから詰めていくことになろうかと思えます。
 - ○ (香西委員) 私は、昨日、地域拠点の審議会である程度のことは、お話をさせていただきました。昨日は、あくまでも意見をということで、審議ではなく、個人的な意見をそれぞれ述べるに留まりました。終わった後に、発言しなかった委員の方たちに「どうだった」というような話を役場の駐車場でさせてもらったら、やはり「かなり無力感を感じた」、僕らもある程度一から携わって、地域拠点化の審議会では、浜頓別に視察に行くなど、いろいろさせてもらいましたけれども。そういったところで、みんなで話し合いをしてきて、確かに会として、道の駅の場所に関しても「皆楽公園がいい」、「小学校の跡地の方が」などの結論は出ませんでした。ただ、「幅広い方の意見を聞く」という答申が出ているはずですが。今回のお話を聞くと、結局、もう「道の駅は温泉でやります」というような形で、これは基本的には、町長さんのご判断というお話だと思います。これが、おそらく、昨日も審議ではなかったもので、皆さん意見として言うてはいますけれども、これを一度も地域拠点化の審議会でも審議しないで、このまま「温泉で道の駅を」ということになるのは、非常に残念でありました。

おそらく、来ていらっしゃる方の中でも「道の駅があそこの温泉のところにあるのがいいの、小学校のところにあるべきじゃないの」と思う方は、たぶん何人かいらっしゃると思います。

「道の駅を新しく作ることはできない、改修でしか作ることができない」、「地域拠点も小学校で改修でしか作ることができない」というのは、予算の絡みなどもいろいろあるでしょうけれども。場所などに関しては、幅広い方の意見でいけば「やはり小学校の方がいいじゃない」となるかもしれませんし、「温泉の方がいいよね」となるかもしれないので、その辺の検討というのは、必要になってくるのではないかと思います。

- （山田会長）これは、百人百様の考え方がありますので、やはり、町財政、特に人口が3千人を切って、その中で今後のコストなどを考えた場合に、何が本当に必要なのか。そのための総合戦略の事業ですけれども。難しいのは予算との絡みですよ。
- ○（本田委員）私たち、昨日、みんなで意見を出しましたけれども、やはり、意見の反映はしてもらっているけれども、なかなかすっきりとする反映の仕方ではないと感じました。いつもこういうので思うのは、基本計画ができてから「皆さんどうですか」という流れですけれども、そろそろ時代も変わってきているので、基本計画を作る段階から民間が入るなどの方法に変えていかないと、今後、ずっとこれが続くのではないかと感じます。
- （山田会長）確かに、拠点地域の審議会もそうですけれども、答申した中で「何らかの形で、やはり関わるべきだ」という意見の方もありました。
- ○（松山委員）私も審議会に出させていただきまして、審議会で大変若い方などいろいろな方がいて、月形がすごく盛り上がっていくのではないかと感じていたところ、今回、既存施設を使って、いろいろ改修をしていくというお話がありました。やはり既存施設を使っていくということは、建物の老朽化は防げませんので、10年先、その先、この施設が古くなっていくということは、もう分かっていることです。それを担っていくのは、私たちよりももっと若い世代、本当に30代、40代の方が、これからそういうことをまたしっかり考えていかなければならないということがやってくる。もう目の前にある程度は来ている気もします。そういうことを踏まえ、今はそれで終わりかもしれないけれども、やはりもう少し先を考えていただきたいと思います。
- ○（西野委員）今、他の資料を見ていて、「道の駅整備比較検討資料」というのを目を通していました。最後のページに「市街地エリア」と「皆楽公園エリア」の比較で、どちらが道の駅に適しているのかという結果として、「よって、道の駅の整備場所については『皆楽公園エリア』とする。」とあります。これが最初にあり、最終的な決断が下っているのなら、先にこちらの方から攻めていけば、違ったのかもしれない

ません。これが道の駅の場所として、「もうここしかないんだよ」という感じで、皆楽公園に決定とするのなら、今までの審議会でどのような検討がなされていたのか私は分からないので余計なことかもしれませんが、何か攻める方向や順番が違っていったような気がしました。

○（山田会長）道の駅の方までいってしまいましたが、とりあえず、拠点施設の話ということで、保養センターと道の駅の話もありますので。

○（加藤委員）その辺は一体だと思う。私は道の駅は別になくていいと思っている。ぼいものはあっていいけど、道の駅とうたってまである必要はない。24時間のトイレが設置してあるなど、そういうのはいいと思う。道の駅を作るには、それなりのハードルがあると思う。飲食店があって、売店があって、そして、そこにどのような魅力をつけていくのかなど、いろいろあると思う。そこに対して、みんなで「皆楽公園がいいのか、拠点がいいのか」、それは、本当にここにいる人だけでも、いろいろな意見があると思う。この結論ありきで出てきているところがどうなのか。「誰がこの結論出したんですか」、私は今伺いたい。事務方サイドなのか、こういう部会があっての結論なのか。それは答えがあるでしょ。誰が出したか。

○（山田会長）そこについては、たぶん答えは出ないと思います。これは、答申を受けた後に審議会です。その審議会です。

○（加藤委員）今、結論を出しているから、どういうメンバーで出したのか。出したなら出したでいいけれども。

●（堀副町長）道の駅に関して、結論を出したのかということではないです。町が案として、このように考えているということです。地域拠点施設の整備、皆楽公園の再整備、それらについて地域拠点の審議会に諮問をしました。そのときに、道の駅についても、場所等も含めて意見をもらいましたけれども、具体的にどちらがいいということは出されませんでした。そして、それについて町が主体的になって案を作るしかないということで、今回、比較検討の資料もありますけれども、このように道の駅については、皆楽公園の場所を申請し、認証を受けた方がよいのではないかと提案です。

今まで、いろいろと昨日も、町長が基本的な考えをお話しています。地域拠点施設ならば、小学校の統合の後に、ある程度こういう基本的な整備をした方がよいのではないかとということでお諮りしています。細かな部分で、もっとこうした方がいいなどについては、その後の基本計画を作る過程で、ご意見をもらいながら決めていきます。ただ、「どこに、どのようなものを作る」など、まず、それぞれの方針を決めていかないと実際に進んでいきません。それで、今回、3つ、4つほど大事な懸案事項について、町長が現段階の考えをお話し、皆さんから忌憚のない意見をいただくということです。ご理解をいただきたいと思います。

- ○（香西委員）今、副町長さんからお話がありましたけれども、ぼくらは昨日は出

ています。要は、この「皆楽公園エリアとする」というところは、例えば、審議会で「これをどう思いますか」という話はされていません。案として出され、「道の駅は皆楽公園エリアとする」となったのは、あくまでも町長さんと役場の方で、こういう案を出して伺っています。

昨日の拠点化の審議会で、何か「審議をお願いします」ということがあった訳ではなく、「一個人の意見だけは、述べてください」というニュアンスの会議でした。この「皆楽公園を道の駅とする」というのは、地域拠点化の審議会で意見は出してないし、決めていない。幅広い皆さんの意見、例えば、このまちづくり推進委員会でどこがいいのか。おそらく、これからの一週間で、農協や団体などにこの説明をされると思いますけれども。そういったところで「どこがいいのか」となされて出された結論であれば、おそらく、みんなストーンとは落ちると思います。

結局、これを「皆楽公園エリアとする」ということで、昨日の審議会でもなったので、要は、審議会の委員は「あっ、そうなんだ」、「もう決まったんだ」ということで、結局、あまり意見も出ない。出す必要も、ぼくらあるのかなというお話はありました。それが事実だと思います。

- （山田会長）確かに、今言ったように道の駅をどうするかというのは、審議会の方でも、ある程度今後にまかせて、その中で審議するという話だと思います。「場所に関しては、今後、検討します」という形で出したのは間違いない。

ただし、町の方もある程度計画を進めるなら、学校の絡みなどもあり、審議会や条例も作らなければならない。そういう中で、一つずつ進めていくと、どうしてもこういう形で皆さんに提案しようということになったと、私個人としては、そう考えております。

ことあと、その道の駅と保養センターの改修も含めて関連がありますので、次の方に進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

- **町民保養センター等改修について**

- **道の駅の整備について**

【説明：企画振興課課長補佐】

(P-1)

- ・ まちの観光拠点としての役割を担う皆楽公園の再整備を目指す
- ・ 機能強化、老朽化対策、維持管理コストの削減

(P-2)

- 「①利用者サービスの向上」

- ・ [保養センター]現在、分散している温泉とホテルのフロント機能の集約
- ・ [宿泊施設]バリアフリー対策
- ・ グループによる利用も一定程度見込む

- ・ 新型コロナの影響もあるが、将来的にも個室利用が多くなると想定
ビジネスタイプの客室でも利用が図れると考える
- 「②周辺施設との相乗効果による賑わいの創出」
 - ・ [保養センター]施設の改修により機能強化を図る
 - ・ [宿泊施設]利用者より、以前から各施設の距離感について指摘あり。改修により一体感の生まれるような動線を確認したい
- 「③老朽化施設の改修」
 - ・ 給湯や空調設備などを中心に老朽化
補修費用や維持管理費用がかさんでいる
 - ・ 経費削減を見据えた改修を行う
- 「④再生可能エネルギー利用を基本とした施設」
 - ・ 設備は高額であるが、現在の設備と比較したうえで、コストの削減や環境に配慮した設備の導入を検討
- 「⑤管理経費の削減、施設運営効率化」
 - ・ 現在、分散している温泉とホテルのフロント機能の集約
効率的な人員配置やオペレーションができる改修を目指す

(別添「道の駅整備 比較検討資料」)

- ・ 道の駅の登録に向けて、現在、計画を進めている
- ・ 場所、規模、機能、整備に必要な事業費を含めて検討を進めてきた
- ・ 新たに施設は建設せず、現在の施設を活用する計画
道の駅の登録に向けた機能を備える
- 町内における道の駅の設置場所について比較検討した資料
 - ・ これまでの審議会、団体、事業所などとの会議における意見を踏まえてまとめたもの
 - ・ それぞれの項目で、メリット、デメリットはあるが、町としては、
 - ① 道の駅登録に必要な機能の整備
 - ② 管理運営体制
 - ③ 供用開始までの時間と課題（特に小学校敷地における課題に配慮）
 これらを総合的に判断して、本資料を案として作成

(P-3)

- ・ 新たな建設ではなく、道の駅の機能を具備することによる道の駅の登録

(P-4)

- ・ 現在でも 200 台以上の駐車が可能
- ・ 近年では、冬季間などの災害も多く、防災拠点としての役割を發揮できる
道路の通行止めにおける避難所としての実績あり
胆振東部地震では、電気の復旧の早い地区であり、入浴支援をした実績あり

【説明：企画振興課長】

- ・ 拠点化の審議会の委員さんからもご意見がありました。少し順番が分かりづらかったというご発言もありましたので、補足でございます。
- ・ この場は、総合振興計画を審議いただくという、機関の中では最高位の機関です。一昨年から昨年にかけて、毎晩のように審議された拠点化の審議会のような形をここでやっていくというのは、不可能であると考えています。
- ・ 拠点化の審議会で、先ほど副町長からも「答えを出し切れなかった」というのは、非常に難しい課題だったのではないかと思います。どちらも良いところがあり、悪いところもあるということで、そのような中で決めきれなかったということが、実際のところだったのではないかと思います。
- ・ 拠点化の審議会は、3つの部会に分かれ、連日のようにご意見を伺った経緯があり、私はすべての部会には出席できませんでしたが、課長補佐が毎回出ましたので、押しなべていうと皆楽公園の方がよかったのではないかと私たちの肌感覚がありました。会長さんの最後の言葉の中にも「あとは町がしっかりやってくれよ」、「この中で喧々諤々とこれ以上やっても、なかなか答えは導き出せない」という形の中で、本日を迎えているということをご理解いただきたい。本来であれば、先ほど言ったように、また、喧々諤々と議論をするのも非常に有意義であり、楽しい機会でもありますけれども、一層の混乱を招くということもあろうかということで、先ほどの比較検討資料を考えました。町としての現時点での一定の方向性と、それに向けてご意見をいただき、「絶対反対だよ」というご意見の方もいらっしゃるかと思いますけれども、そのような意見も言っていただければと思っております。
- ・ 保養センター等の改修については、これまで町の過去の計画や拠点化の審議会でも「莫大な費用をかけて改修するというのは、止めましょう」ということは、皆さんからの一貫した意見でありました。
- ・ 道の駅をどこに建てるかというのは別にして、先ほど町長が言ったとおり、十数億というような費用をかけて、建物を新たに造っていくということは、財政的にも難しいと判断しています。その中でベストとは言えませんが、ベターのところはどこだろうか。また、月形町の場合は、特産物等もなかなか少ない中でリピーターを求めていくとしたら、皆楽公園の温泉やキャンプ場といったソフト面も考慮した中で進めていく方が、今後の管理運営についても有効ではないか。そのようなことで、考えさせていただいた結果が、今日の場であるというように認識をいただきたいと思っております。
- ・ 7月の中旬から、各種団体にも意見を募ってございます。その時点では、このように踏み込んだことではなくて、本年度の当初に皆さんにお示しした現段階での資料をお渡しして、意見をいただいたところでした。強く道の駅がどちらかということのご意見をいただいた訳ではございませんでしたけれども、先ほど申しましたと

おり、町として、今後、どちらが費用を抑えた中で有効な施設整備をできるかという結果を、本日、皆さんにお示ししたという認識です。決して意見をシャットアウトするだとか、拠点化のところにおまかせはしないということではございません。今後とも、拠点化については、細かな部分についても、ご意見をいただいていたと考えてございます。方向性がついてからということになるかと思えますけれども、この場については、難しいとは思いますが、その節は、拠点化の皆さんについては、引き続き、お付き合いいただければと考えています。

【質疑・意見など】

- （山田会長）保養センターの改修と道の駅の整備について、総合評価ということで、利便性、効果などを検討した結果ということです。情報発信の面で、不満なところもあろうかと思いますが、総合評価としてはこのような結果として出てきたところです。それに関して、皆さんの方からいただきたいと思えます。

今後とも、いろいろと各方面の意見も聞きながら、町長、副町長は、議会等で答弁しますが、まだ決まっていないこともあります。何がベストなのか決まっていませんけれども、皆さんの方にいろいろと意見をいただくということが、今後出てくると思えます。それも踏まえ、このような形の中で説明をした訳ですけれども。これについてどうでしょうか。

- ○（伊藤委員）温泉の改修ということですが、それは必要ではないかと思っていました。農協さんでも、やはり本州から市場の関係者などが来ても、泊るところがないという面もありまして、拠点と言わないまでも、何らかの形で改修する。道の駅にするかどうかというのは、意見が分かれるところです。

戻りますけれども、地域拠点の場所ですが、小学校跡、地域拠点、観光拠点と、「拠点」ばかり出ています。この小さいまちで、大風呂敷を広げない方がいいのではないかと思う。一つ一つ実施していった方がいいのではないかという気はします。

コロナ禍において、観光ばかりに力を入れるのもどうかと。ここは、少し中長期的な視野で、何かの企業を誘致するとか。若い者の働くところがないですから。月形に戻らないし、そもそも外に出ています。ホームックニコットはありますけれども、それにしても限られています。そういう人間が留まるとか、他の市町村から永住まではいかないにしても、月形町に住むような形も一つ考えてやらないと、観光ばかりでは、人が遊びに来られても、夜になったら何もいなくなるから。何か人口が少しでも増える形を考えた方がいいのではないかとは思えます。一つの意見です。

- ○（岡委員）この資料を見た印象としては、全体のイメージが沸きません。これでどういうことができるのだろうか。どのようなイメージで長期的に考えて進めていくのかというのが少し分かりづらい。正直、私は、道の駅の機能はどちらにあっても、自分としてはいいと思っている。それはどちらにあっても、どういうことができるかということの明確なビジョンが見えていれば、どちらにあっても成功する。

そのビジョンがないと、どちらにあっても失敗する。そこが少し今の時点では見えてこない。みんな本当は分かりづらいのではないかと思います。そこが一番、少し腑に落ちないというか、引っかかったというところ。正直、よく分からない、見えないというのが、自分の印象です。

- （山田会長）今、伊藤委員さんからも、岡委員さんからもありましたけれども、その中長期的なビジョンがぼけて、中身がよく分からないという意見も出てきましたけれども。
- ○ （黒宮委員）私も中身としては、伊藤さんの意見に賛成かなと思います。地域拠点整備というのは、必要ではないかと思うけれども、これに関しては、小中学校の統合が終わってからもいいのではないかと思います。今、どうこうと中身を決めるのではなく。温泉を整備した中で、字が小さくてよく見えませんが、図書館などももっていきこうという考えなのかなという気はします。逆に、地域の人口を増やしていただいて、小中学校を統合しなくても済むような、子どもを増やすような考えをもった方がいいのかなと思います。そんなに増えることはないとは思いますが、そんな考えです。
- ○ （津坂委員）道の駅のことです。「道の駅」とうたうんですよね。「月形道の駅」とうたうんですよね。建物は新しく建てるわけではなくて、機能が道の駅であって、月形道の駅ってうたうんですか。

どこの道の駅をみても、幹線道路沿いだと思います。あそこ奥まっていますよね。先ほどの説明の中でも、町道を走って200mほど入る。例えば、月形は豪雪地帯で、冬に吹雪いて通行止めになると、大型車があそこの皆楽公園のところに入ってくる。なかなか切ない部分があると思います。そうであれば、幹線道路沿いにある方が私にはいいと思います。ただ、機能は道の駅というのであればいいですけども。うたうのであれば、気分的には地域拠点のところじゃないと、人命救助という部分にもかかってくるのではないかと思います。確かに夏の間は農家の人たちの農産物、売店もあります、例えば、月形そば打たん会のそば屋もやっています、そういうようにいろいろできると思います。温泉のレストランもやっていませんよね。そういう部分でも、これは入ってくる人がいないのか、改修の関係で令和6年の中くらいの工事が終わる段階までレストランは営業しないのか。この部分も気になっています。あそこの厨房機器はリースと聞きました。営業しないで、ずっと何年もリース代だけを払っているというのであれば、少しまずい。それよりも、整備の期間は、一旦リースの物件を返して、改修工事が終わってから新たに契約し直すというようなことも考えられると思います。そこら辺はどうなっているのでしょうか。

宿泊という部分については、食事ができないというのは、私も今年の春先にありました。「泊りたい」と言われたが、「今、メシやってないみたいだから」となかなか切ない。温泉はあるけど、やはりお客さんは減っています。改修というよりも、

やはり真っ先に再開して、今はコロナですから、そんなに人も来ないかもしれませんが。コロナと言いながらも、キャンプのお客さんは入り切れないうらいテントを張っているというような状況です。あれ密だと思いたすが、話が逸れましたけれども、道の駅に話を戻します。幹線道路沿いでなくていいものなのかと、私は気分的に思いたす。

- (企画振興課長) 比較資料でもあるとおり、275号線沿いというのは、当然優位性があると思いたす。ただ、道の駅が国道沿いでなければいけないとか、道道沿いとかという縛りはありません。例えば、北の方に行けば、苫前の道の駅は皆楽公園よりも奥で温泉にありますた、かなり賑わっています。札幌開発建設部さんにも確認をしましたが、国道と一体での道の駅を「一体型」、違いう形であれば「個別」ということで、それぞれ認められておいたす。中には、新篠津のように国道沿いではないところでも道の駅という形です。新篠津も道の駅として、新たな建屋を建てたりしている訳ではございたせんので、イメージ的には、そのような感じと思いたす。

レストランの再開の話もありましたけれども、リースをしている部分というのは、今後、当然見直していかなければなりません。契約の期間が決まっておいた、止めることができないう契約になっているということもありたす。その辺りは、実際にレストランの中を整備するときは、当然、見直しを行っていく必要があると思いたす。

- (山田会長) 今後とも、皆さんの意見を聞きながら対応することと思いたすけれども、とりあず、保養センター、道の駅に関しましては、決まったわけではありたせんけれども、このような方向性ということですよ。

○ 旧JR鉄道跡地(石狩月形駅周辺整備)について

【説明：企画振興課課長補佐】

(P-5)

- ・ JRの廃線に伴い、JR敷地を含めた財産の譲渡を受ける予定
活用の方向性について記載
- ・ まち全体で有効活用することを基本
- ・ 鉄道敷地は、南北16km縦断
- ・ 旧石狩月形駅周辺の整備内容を提案
鉄道敷地による市街地エリア(市北地区、赤川地区)の分断の解消
駅舎については、町道新設の支障となることから解体・除却の予定
整備の詳細については未決定
大きな費用を掛けずに、その後の維持管理も考慮した整備を検討したい
- ・ 鉄道レガシーの継承

駅の看板やポイント切替機などの配置も検討

(P-6)

- ・ 緑の部分が、JR敷地の活用部分

(別添「全体スケジュール(案)」)

- ・ 1番から5番が今回の説明部分
- ・ 6番から9番については、1番から5番の主要事業に連動し、費用負担も考慮しながら整備・補修等を検討

【質疑・意見など】

- ○ (松山委員) 町道新設に関しては、町民のみんなも利用しているということで賛成ですが、この憩いの場の整備と鉄道レガシーの継承に関しては、今のところ結構な予算が充てられていくという計画にみえる。駅舎を解体するのであれば、ホームとレールを残して公園を造るなど、そこまでする必要はあるのかという気がする。

札沼線を残したいというのならば、樺戸資料館の中とか、例えば、見せる展示とか、今までの中でいろいろなスペースを取りながら、工夫をしていける方法もあるのではないかと感じます。昨日も、公園や子どもの遊具などということもおっしゃっていましたが、子どもの遊び場ということを考えれば、どうせお金をかけるなら皆楽公園の遊具スペースなりをもっと充実させるとか、水辺の家を通年の子どもの遊び場に変更するとか、まちの人も町外の人も利用できるようなスペースを考えていった方がいいのではないかと思います。

- (企画振興課課長補佐) ご指摘のとおり、特にこの以外と狭そうで広い面積がございます。この整備に関しては、超概算で費用を掲載させていただきましたけれども、これについては、十分に精査する必要があると思っています。整備のグレードや度合いということについて、昨日の審議会からも意見をいただいています。また、他の施設との重複も避けるべきというような意見も伺いました。そのようなことも踏まえて、なるべく費用をかけずに有効的に活用できるものを考えていきたいと思っています。

そして、レガシーの部分でございますけれども、樺戸博物館の方での展示など、いろいろお話をいただきました。スペース的なものや集治監とも若干毛色が違うということもございますので、どのような展示がいいのか、当然、考えていかなければならないと思っています。例えば、拠点施設の方で実現できれば、施設内の一部をそのような展示コーナーとして整備するとか、先ほどの看板など、屋外で展示できるようなものは少し残しながら、あまり大きな費用や管理費かけないということも基本的に考えていきたいと思っています。ただ、手つかずというのも非常に難しいと思います。町有地をそのまま放置するというのも難しい部分がありますので、そのような管理のことも考えて、やはり一定程度、面的な整備が必要というように考えております。その点については、ご理解をいただきたいと思っています。全体的な事業

費については、更に精査をしていくというように考えております。

- ○ （津坂委員）鉄道敷地の跡地利用という部分で、他に「こういうことで使いたい」というような構想や話というのではないのでしょうか。

- （企画振興課課長補佐）現在、線路については、農業に関して支障となる部分について沿線農業者と交渉を進めています。それ以外で、民間や町外の人から「譲ってほしい」、「このような使い方をしたい」というような問い合わせはありません。

そのほか、先ほど説明させてもらった駅や一定程度面積のあるところについては、このような形で再利用を図っていこうということで、今回、提案をさせてもらっています。

大きな面積でいうと防風林です。鉄道林がありますので、そこも営農上、支障になるということで、沿線の方と対応について個別に調整を行っています。

それ以外のところは、駅舎周辺関係を一定程度整理した後、残った町有地について、将来的にどのように活用していくかということ、第2段階として、これから考えていきたいと思っています。現段階で、全部の土地をどのように活用するかという計画は、まだ持ち合わせていないのが現状です。

- （山田会長）おそらく、この未来を考える会、今後とも情報交換や意見を聞くということも、計画を進めるにあたってあろうかと思えます。もしも、ないようでしたら、ここら辺りで閉めさせていただきたいと思っています。

- ○ （岸上委員）教育委員も、拠点化も一緒に委員をさせていただいています。最初は学校のグラウンドの一部を使ってというような感じでしたが、ある時点から校舎を利用してという話が最後の方になって出てきて、それを受けて教育委員でも一生懸命に協議をしているという形になっています。

小学校と中学校をただ一緒に同じ校舎で学ばせればいいのか、そういうことではなくて、本当にカリキュラムなど、建物も小学生がいきなり中学生の校舎を使える訳ではないので、いろいろな改修が必要です。教育長をはじめ、事務方さんも一生懸命考えてくださっているところでございます。

これを、本当に教育委員が今まで何も考えていなかったということではなくて、相応に時間が掛かることだということをご理解いただきたいと思います。やはり、これは先生方、中学校や小学校の先生方の協力なくしては進まない話ではあります。ただでさえ、学校の先生方は仕事、労働、かなりのものがあると思いますけれども、それに加えてコロナの対応であるとか、そういうことで本当に大変な思いをしてらっしゃいます。その中で「小中一貫」という大仕事、先生方と相談してやるということになると、先生方は本当に大変な思いをされると思います。先生方が大変な思いをされるということは、子どもたちに必ず跳ね返ってくると思います。ですので、この役場の方々が一生懸命立ててくださったスケジュールですけれども、これに絶対乗っ取らなければいけないとか、これがあるからということ、もちろん考えて

いないとは思いますが、やはりそのときの状況とかがあると思います。本来であれば、教育というのは独立して考えてもいいことであると思いますが、やはり町の発展を見据えて、移転ということで、今回、そこまでなった話でございますので、これについては、本当にお時間をいただいて、遅くなったとしても「何をやっているんだ」ということではなくて、子どもたちのために、先生方のためにも、お時間がかかるということをご理解いただければと思います。

- (企画振興課長) 審議会の中でも同時並行的にやれないだろうかというような議論もありましたけれども、当時、小学校の校長先生のお話も伺って、それはちょっと「子どもたちにも影響が大きい」というご意見がありました。皆さんから「私が元気なうちに拠点化を作ってほしい」という声もありますけれども、教育長や岸上委員が言われたような形で、整備していかざるを得ないのではないかと、皆さんのご理解をいただきたいと思います。

- ○ (松山委員) 町長さんがいらしていますので、町長さんをお願いします。私たちが気軽に立ち寄り、話をする場所がまちの中にあまりないので、どうにかならないだろうかという話をしていました。

役場の町民サロンの活用ですが、今、町民サロンを利用している方も少なく、やはり、あの場所はバスや買い物に行っても、割と開かれた場所になると、みんなが利用しやすい場所ではないかと思います。何かあの一体のレイアウトを少し考え直して、町民が気軽に立ち寄れるような場所にならないかと、私たち団員の中では、そんな意見も出ています。よろしければお考えいただきたいと思います。

- ○ (山田会長) また、このような会議が出てくるとは思いますけれども、今日のところはここで終わらせてもらってよろしいでしょうか。

- (全員) はい。

(2) その他

※ なし

4 閉 会

【挨拶：山田会長】

- ・ 貴重な時間ですけれども、お疲れの中、長時間にわたり大変ご苦労様でした。
- ・ 前に言いましたように、また、皆さんに集まっただきながら、今後のスケジュールに沿って、いろいろとご意見を伺うこともあると思います。そのときは、また、忌憚のない意見を頂戴したいと思いますので、よろしくをお願いします。

今日は、これで終了させていただきます。ありがとうございました。

【挨拶：上坂町長】

- ・ 最後にお礼を申し上げたいと思います。

改めて、皆さんと最初から最後まで、このような形で今日、皆さんのお話を聞くことができ本当に良かったと思っております。

- ・ 私は、何とか新しいまちづくり、そして、これまでの多くの課題について、早く町民の皆さんと一緒に、町民の皆さんが主人公として、主体的にまちづくりに参加をいただいて、20年後、30年後に良かったと言われるようなまちづくりの先頭に立ちたいと思い、あっという間に、2期目も1年になってしまうと思っております。ただ、どうも、私の発信も含めてですけれども、情報が錯綜しているようで、今回、新たに出てきたことがたくさんあると思っております。
- ・ 拠点施設を小学校の校舎を活用し、グラウンドに造ると言ったから、小中一貫教育について考えなければならない。そういう訳ではなく、もっと数年前から議会の研修等でも、小中一貫教育について早くから取り組み、全国的なモデルも視察に行って話題となっていた。そういう流れの中で、「突然、拠点施設が小学校の敷地で、校舎を使うようになったから、小中一貫教育について考えるようになったのではないか」とか、道の駅についても、私が町長になったときに、「町長さん、月形にも道の駅があったらいいな」そんな話が子どもたちからもありました。そして、「もっと賑わいを」とか。

しかし、今回もそういう意味で、道の駅ありきで、皆楽公園か拠点施設のところかという議論をした訳ではありません。温泉やホテルが老朽化し、あちこち水が漏れ、配管取替工事が必要、温泉のお湯を沸かすのに重油の経費がかなり掛かるなど、いろいろな問題がある。それから、レストランについても、皆さんご承知のとおり、「この業者にお願いしたらいいだろう」と何件もやったけれども、やはりだめだった。次もまた、だめ。そういうことの中で、何とか温泉等の手入れをしたい。それに関連して、トータル的に考えたときに、道の駅という国の認可、承認をもらうことによって、もっとイメージがアップするのではないか。そういうことの中で「道の駅というようなことも含んで、これから考えています」というと、「急ににわかに、町長が道の駅を新しく作ると宣言している」という思いの人もたくさんおられます。

それから、駅舎についてもこれまで、駅舎を残した方がいいとか、絶対保存して樺戸博物館と同じにした方がいいという話がなかったと思います。ただ、赤川の公営住宅の人たちや高齢者の人たちがまちへ出て来るのに、遠回りをしなくてもいいように、早く何とか通れないか。JRが通っていたときから、通れることできないかという話もあり、いろいろと検討してきた。そのような中で、今回、たまたま札沼線が廃止になったので、その人たちの生活を守るために優先的にやろうということで検討した結果です。駅舎を残すには、何千万というお金が膨大に掛かる。

- ・ そういう経緯の中で、これまで審議会や会議などで検討いただき、多くの課題や意見を、いろいろな立場の人たちから聴取し、組み立てていくという手法は、私は、一番大事なことだと思っております。
- ・ 今回、2時間以上もかけてご意見をいただきました。この責任は私にある。それは、私

が札沼線の苦渋の廃線を決断したばかりに鉄道跡地の問題が。苦渋の決断をしたけれども、月形の新しい140年、これからの150年、200年に向かって、このすばらしい子どもたちや、歴史と伝統、文化も含め、人のやさしさ、おもいやり、そういったことをしっかりと継続したい。北海道一、日本一すばらしい、日本遺産や北海道遺産もある。そういった、このすばらしいまちをしっかりと守っていこうと、繋いでいこうと。そういうことで、私は札沼線の苦渋の決断をしたけれど、新しいまちづくりをスタートさせたい。スタートしていきましょう。このように皆さんに呼びかけし、皆さんの信任を得て2期目に入り、今、皆さんにご意見を伺っている。このことについて、改めてご理解をいただきたい。

- そして、役場の中に新しく「まちづくり推進室」を作りました。これは、これまでの役場の縦割りのいろいろな業務の進め方を横断的にします。新しいまちづくりは、大変なことであり、役場総力を挙げて、そして、子どもからお年寄りまで多くの町民の人たちに、一緒に参画していただき、月形の新しいまちづくりをしようということで推進室を作りました。この会議の場だけでなく、いつでも推進室等にご意見をお持ちいただいて、そして、一緒に議論して、新しい月形のまちづくりを進めていこうじゃないですか。どうぞよろしくお願いします。今日は本当にありがとうございました。

(午後6時46分)

月形町まちづくり推進会議
「月形町未来を考える委員会」委員名簿

■R3.8.19現在

(任期：令和2年2月7日～令和4年2月6日)

No	選任区分	所属		役職	氏名	出欠 8/19	備考
1	第1号 (施行規則第2条第1号)	月形町農業委員会	会長職務 代理者		黒宮 勝美	○	
2	第2号 (施行規則第2条第2号)	月形町教育委員会	教育長職務 代理者		岸上 希央	○	
3	第3号 (施行規則第2条第3号)	月形町社会教育委員	社会教育 委員長		伊藤 格	○	
4	第4号 (施行規則第2条第4号)	月形町行政改革推進委員会	委員長		-	-	
5	第5号 (施行規則第2条第5号)	月形町民生委員児童委員協議 会	会長	会長	山田 啓一	○	
6	第6号 (施行規則第2条第6号)	月形町更生保護女性会	会長		西野 智佳子	○	
7		月形町赤十字奉仕団	委員長	副会長	松山 俊子	○	
8		月形町社会福祉協議会	事務局長		尾崎 美世子	○	
9		月形町農業協同組合	理事		加藤 隆行	○	
10		月形町農業協同組合青年部	部長		山田 直樹	×	
11		月形町農業協同組合女性部	部長		中村 三賀子	×	
12		月形商工会	監事	副会長	岡 浩之	○	
13		月形商工会青年部	部長		香西 雅之	○	
14		月形商工会女性部	監事		鳥潟 さつき	○	
15		月形町環境保全推進協議会	理事		山際 榮二	○	
16	第7号 (施行規則第2条第7号)	月形町行政区連絡会議	行政区長		津坂 佳史	○	
17		月形町行政区連絡会議	行政区長		堀 誠哉	×	
18		月形町行政区連絡会議	行政区長		竹田 紘一	○	
19	第8号 (施行規則第2条第8号)	一般公募			本多 大輔	○	

敬称略